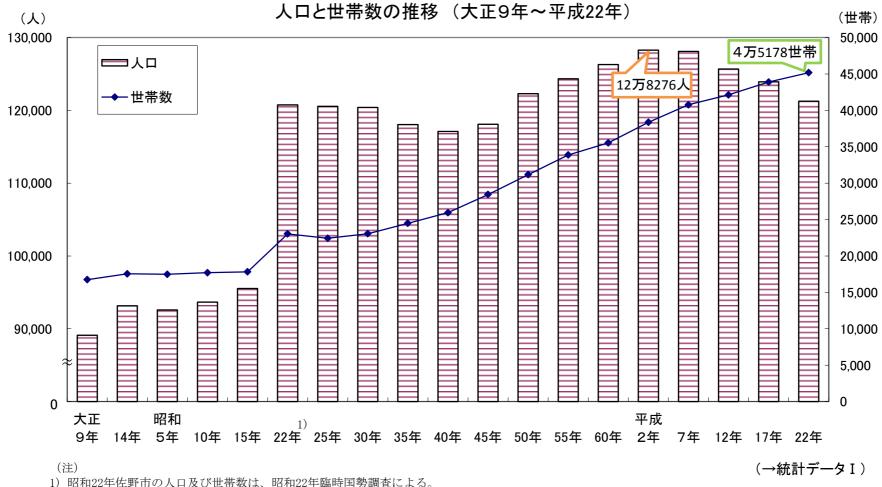
1. 人口と世帯数の推移

佐野市の人口をみてみると、人口は平成2年(12万8276人)をピークに、平成7年からは減少に転じ、平成22年の佐野市の 人口は、12万1249人となっている。総人口を男女別にみると、男性が5万9499人(市全体の49.1%)、女性が6万1750人(同50.9%) となっており、女性のほうが2,251人多くなっている。

佐野市の世帯数を見てみると、世帯数は大正14年~昭和5年及び昭和22年¹⁾~25年を除いて増加しており、平成22年の 佐野市の世帯数は、4万5178世帯となっている。

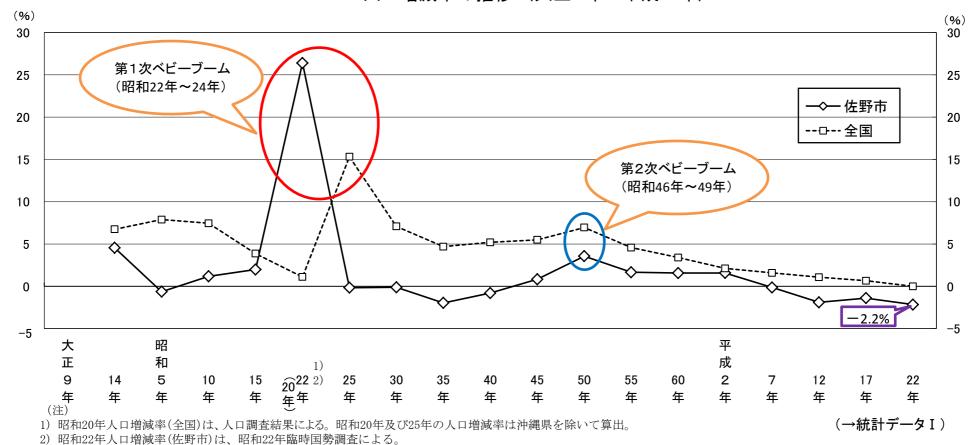


2. 人口增減率

佐野市の5年ごとの人口増減率の推移をみると、第1次ベビーブームにより、昭和15年~22年は26.4%と高い増加率となったが、その後は 出生率の低下に伴い増減幅が縮小し、30年~35年にはマイナス2.0%となった。

その後、第2次ベビーブームにより、昭和45年~60年には3.6%と増加幅が拡大したものの、50年~55年には1.7%と再び縮小に転じ、平成2年~7年以降、増加率はマイナスとなっている。平成17年~22年には増加率マイナス2.2%と、調査開始以来最低の人口増加率となっている。

人口増減率の推移 (大正9年~平成22年)

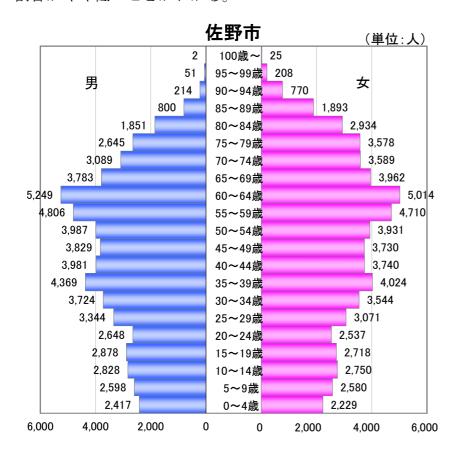


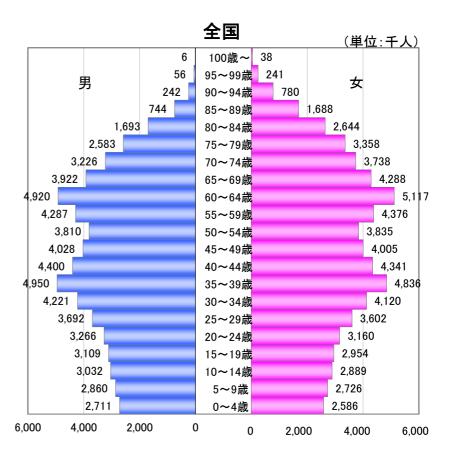
3. 人口ピラミッド

佐野市と全国の人口ピラミッドを比べてみると、その形状はほぼ同じで、2箇所にふくらみのある「つぼ型」となっている。2箇所のふくらみはそれぞれ、第1次ベビーブーム($60\sim64$ 歳)および第2次ベビーブーム($35\sim39$ 歳)によるものである。

第2次ベビーブームのふくらみについてみると、佐野市は全国と比べ、その影響が小さいことがわかる。

また、年齢区分(5歳ごと)別人口でみてみると、佐野市は全国と比べ、60~64歳の割合がやや高く、20~24歳の割合がやや低いことがわかる。



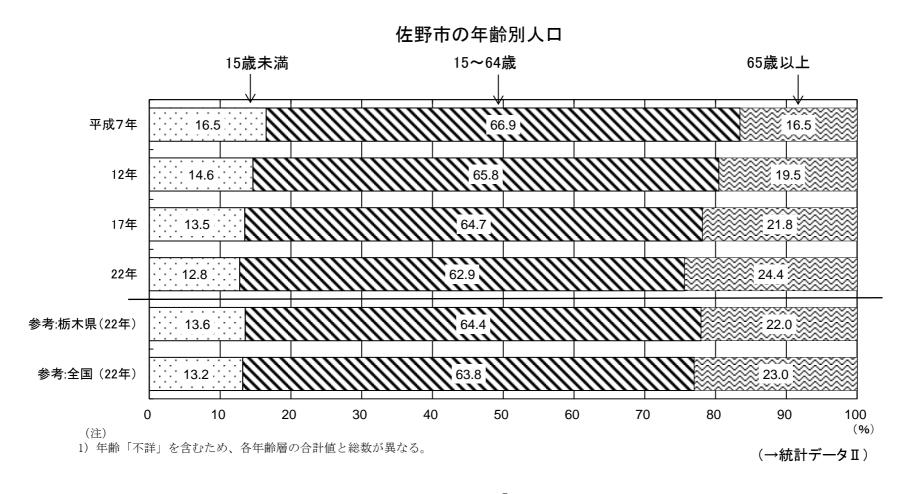


(→統計データIV)

4. 年齢別人口

佐野市の人口12万1249人を年齢3区分別にみると、15歳未満人口は1万5402人(市全体の12.8%)、15~64歳人口は7万5834人(同62.9%)、65歳以上人口は2万9394人(同24.4%)となっている。

平成17年と比べると、15歳未満人口は1,308人(7.8%)減、15~64歳人口は4,309人(5.4%)減、65歳以上人口は2,328人(8.6%)増となっている。また、総人口に占める割合は、15歳未満人口は13.5%から12.8%に低下、15~64歳人口は64.7%から62.9%に低下、65歳以上人口は21.8%から24.4%に上昇となっている。

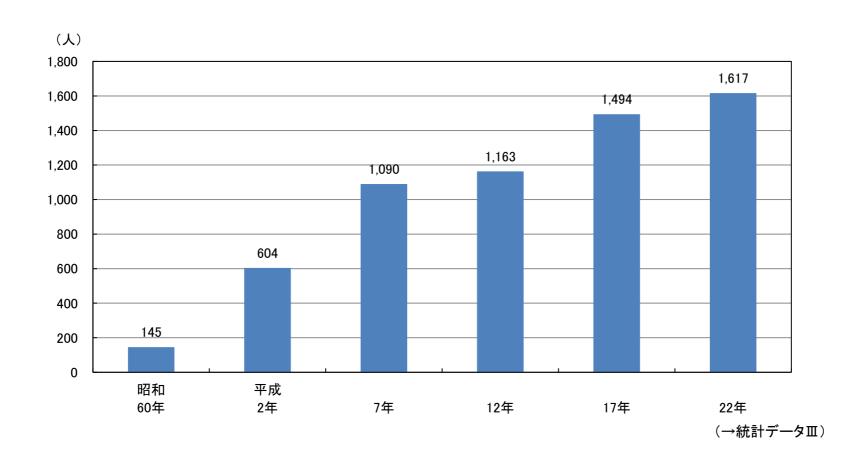


5. 外国人人口の推移

佐野市の総人口12万1249人のうち、日本人は11万9632人、外国人は1,617人となっている。平成17年と比べると、 日本人はやや減少(2.3%減)し、外国人は増加(8.2%増)している。

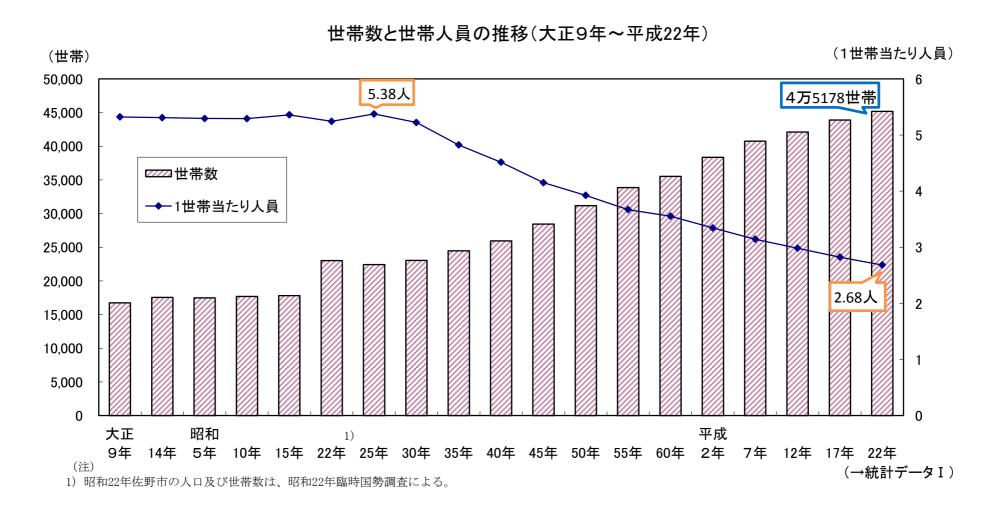
市内の外国人人口を昭和60年から比較してみると、昭和60年の145人(市全体の0.11%)に対し、平成22年には 1,617人 (同1.33%)と、外国人人口は大きく増加していることがわかる。

外国人人口の推移(昭和60年~平成22年)



6. 世帯数と世帯人員の推移

佐野市の世帯数を見てみると、昭和25年以降増加しており、平成22年には4万 5178世帯となっている。 佐野市の世帯人員を見てみると、昭和25年をピークに年々減少しており、平成22年には2.68人と調査開始以来、過去最低の 世帯人員数となっている。



7. 栃木県内14市人口比較

栃木県全体に占める14市部の人口を見てみると、173万6799人(県全体の86.5%)となっている。県内14市のうち宇都宮市が51万1739人(同25.5%)と最も多く、小山市16万4454人(同8.2%)、足利市15万4530人(同7.7%)と続いている。 佐野市の人口は、12万1249人(同6.0%)であり、県内14市中第5位となっている。

県内14市の人口比較

